

# おしえて〜

また来ます！

いつでも  
初ボラ大歓迎！

いいねっ

## のたろんフェアに参加した学生ボラに聞きました。 はじめてのボランティア、どうだった？

いいな一つ思ったことを教えて



のたろんフェアで初めてボランティアをしました。  
雰囲気がよくてずっと楽しかったです。  
着ぐるみはもちろん！他の学生ボランティアや景品交換に  
来たお客さんたちのおしゃべりも楽しかったなー。

今後活かそうだなって思うことある？



小さい子どもとの関わり方や  
イベントごとで、自分の力を活かそう、  
と思いました。



# はじめてのたろんボランティア

## 市民活動

# 春

(( すかっこの市民活動情報 ))

サポセンスタッフにも聞いてみました。

# 初めてボランティアしたときのことおしえて？

そのときに「いいなー」って思ったこと、それが「活かせたな」って思うことある？ということをお聞きしました。

## 手話ダンス

市の広報誌で募集を見て、やってみようかなと参加しました。

いいなーって思ったこと → 介護施設に訪問して手話ダンスを披露したときに、下を向いていた皆さんが上を向いてくれました。

活かせたなって思うこと → 手話を覚えられたこと。あと、ステップが出来るようになりました！



## 清掃活動

小学生のとき漫画を読んで、「児童養護施設にボランティアに行きたい！」と母に言ったんです。そうしたら、「家の周りを1カ月掃除してみなさい」と言われました。

いいなーって思ったこと → どのくらい続けられていたのか覚えてないのですが、しばらく一人で家の周りの掃除を続けていたので、通りがかりの人や近所の人に「えらいね」と言われ、あ、いいなーって思いました。

活かせたなって思うこと → 今の社会福祉への興味はそのことがあったからだと思います。進路にも影響しました。



## 東日本大震災

大学一年生のときに東日本大震災の被災地に行きました。

いいなーって思ったこと → いっぱいありますよ～。初めて行ったのは2011年の夏で、続けて来ようと思う気持ちになりました。全国から来る人たちとの関わりも、学びになっている感じも、いいなーって思うことばかりです。

活かせたなって思うこと → それまではふらふらしてたのですが、被災地ボラに参加してから社会問題に興味を持てるようになりました。視野が広がりました。



## 森林ボラ

大分の中津江村で台風被害にあった山の整備をしました。

いいなーって思ったこと → この山は福岡市の水源地なんです。汗をかいて森を作って、「あ私たちは水を作ってるんだなー」と気持ちよかったですね。

活かせたなって思うこと → 先日帰郷したとき行ってみました。30年ぶりです。みんなで植えた木が大きくなっているんですよ。嬉しかったですね。村は過疎化が進んでいましたが、、、。いろんな職種の人に出会えたこともいい思い出です。



## リーダーキャンプ

町内の「リーダーキャンプ」で小学生のめんどうを見る係をしました。

いいなーって思ったこと → リーダーのお兄さんお姉さんと夜通し語らったのを覚えています。

人の前で話さなきゃいけないことがちょっとだけ大丈夫になりました。

活かせたなって思うこと → あと、コミュニケーションのバランスが身についたかな～と思います。



他にも、「仲間のメンバーに好きな子ができた！？」とか「大声出せてストレス発散♪」とか「ボランティア募集って広報を見たとき、ちょうど私はダメな自分に辟易していて人生をあきらめている時期でした。」なんていう経験談もとびだしたスタッフメンバー12名の「初めての市民活動ボランティア☆ノーカット版」はこちらでご覧いただけます。





～市民活動を支える人たち～

## アルミ缶でボランティア 代表 安藤 哲也 さん

あたたかな笑顔と間髪入れない受け答え、インタビューは奥さまに読んでもらうだけで充分というアルミ缶でボランティアの安藤さんにお話を伺った。

テレビ放送が始まった1953年、長野県佐久郡で生まれる。高校生時代は、児童文化部、体操部に所属。祖母がお茶の先生だったこともあり、茶道部に所属し卒業式では、裏千家の修了証が渡された。そのときまで同じクラスの誰も茶道部ということを知らなかったという。また、友達に誘われて冬山登山へ、登っているときは二度と来ないと思うが頂上で雲海を見ると来てしまう。

児童文化部で身寄りのない子供の施設を訪問し、初めて福祉というものを体験した。

大学受験に失敗するも、祖母に大学生の姿が見たいと懇願され先生に相談、まだ受けられる大学があると聞き受験、現役で政経学部に入學した。

一年間は大学に通ったが、卒業した先輩学生を追いかけて、福岡、そして大阪を一年以上放浪。神奈川に戻ったときには、大学に通う気持ちはなくなっていた。神田の書店街に魅せられて通いつめ、職を転々としていた。そんなとき、今の奥様と出会った。その後も数年間、同じような生活をしているうち奥様の実家から呼び出されて「ちゃんとしろ」と言われた。

丸の内食品に就職、サラリーマン生活を送る。持病があった奥様は、困難は分かっていたが長女を出産、けれどなかなか退院ができず8ヶ月間の病院生活を送った。妻が入院中娘はベビーホームに預けられた。ベビーホームという存在を知り二度目の福祉体験となる。

何年かが過ぎて、「やっぱり本屋やりたい」と家賃が安くそこそこ街場だった野比で、古書店を開く。開店前

の改装は自分自身で行い、純文学、哲学、お茶、絵画、登山、趣味性の高い本を並べて悦に入った。長井の自宅では、近所の子どもたち



数人の勉強を見ていた。噂を聞きつけて、うちの子も勉強を教えてほしいと子どもたちが集まってきた。机を買い足し買い足し一時に十数人の勉強がみられるようにして、時間ごとに入れ替えて、70人ほどの生徒の「名前も看板もない塾」を運営することになった。

現在、知的障がい者の方々が利用する施設の理事となりまた自身も二つのNPOの理事長を務め福祉とは何かという問題と毎日面と向かっている。

アルミ缶でボランティアは、2010年頃、長井地区で、町内会長を務めているときに、お年寄りの安否確認に子どもたちが訪問する方法として、アルミ缶の回収を思いついた。お年寄りアルミ缶を使う機会がほとんどないので、回収はうまく行かなかったが、アルミ缶を授業料代わりに再び塾を開いた。それが話題になり、ホームページ等も整備したところ、ネーミングのセンスも功を奏したのか、全国各地から問い合わせがあった。本州以外は断ったが、西は名古屋。北は陸前高田市まで、アルミ缶を受け取りに行ったこともある。

「性格は変えられないが、いろいろなものに手を出しすぎる。困ってるんだろうなとか思ってしまう」熱弁をふるうタイプではないが、仕事と活動の一つ一つには、ほとぼしる情熱。市民活動、市民社会をささえる大きな愛を感じた。奥様と末永くお幸せに。

### 団体紹介

#### NPO 法人 アルミ缶でボランティア


アルミ缶の収集活動を通じて障がい者の自立支援につなげたり、アルミ缶を集めてくれた方に開発途上国の子どもたちのことを知ってもらったり、寄付をすることや、環境に関することに興味をもってもらう活動です。そして...


アルミ缶およそ45個で  
約1人分の給食を提供できます。


みんなで集めたアルミ缶はWFP国連世界食糧計画の学校給食プログラムに役立っています。





くわしくはホームページで!


 チラシの印刷終わったー！でも発送作業まで終わらなかったから、明日またサポセンに来て続きをやらなくと…。このチラシ持って帰るのが重たいなあ。


 そんな時は一時預かりロッカー！


 わぁ！びっくりした！一時預かりロッカーってなにそれ？


 受付の後ろに、緑のロッカーがあるでしょ？そこに入るものなら、1日50円で預けることができるんだよ。


 1日50円って安いっ！そこに預けたらこのチラシ持って帰らなくていいってこと！？


 うんうん。利用できるのは市民活動やボランティア活動をしてる人限定なのだけど、その分お安く使えるようになってるんだよ。


 助かるう！この大荷物が1日たったの50円で預けられるなんて…。(ゴソゴソ)ぬ、ぬまちゃん…！ちょっと、どうにも、ギリギリ、ロッカーに入らないんだけど(泣

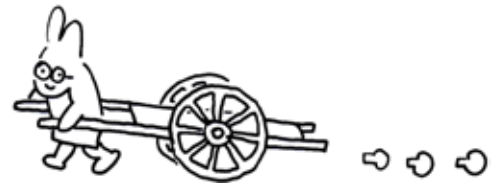
 あ、もしロッカーに入らない大きさだったら、台車1台分で1日100円で預かることもできるわよ。いくつかに分けてロッカーに預けるより、こっこのほうがお得かも。

 助かるう！今日、雨の中で大八車に乗せて帰るつもりだったから…。

 だ、大八車ってしぶい…。

 坂道の多い横須賀で、大八車はなかなかキツイから荷物預けられてよかった！

 それはよかった！でも大八車を一生懸命引っ張ってるのたろん…ちょっと見てみたい。かわいいかも…。



共楽荘に行ってみた②

〜前回までのおはなし〜

仕事で共楽荘に行ったのに、「池」と「錦鯉」に「やっほい」してしまった我が甘党。今度は共楽荘で月に1回開催される「おしゃべりカフェ」の情報をゲットする。がんばれ甘党！(何を?) いったい、どうなってしまうのか！

…ということで、本日も共楽荘におじゃましております。甘党です。

今日の目的は「おしゃべりカフェ」。カフェといったら「甘いもの」ですもんね！

この「おしゃべりカフェ」、毎月第3火曜日に共楽荘の集会所で開かれています。なんと参加費は100円ほつきり。しかも予約しなくても誰でも参加できちゃうんです。さらにさらに、カフェに来ている方たちの笑顔がとってもステキ！

「おしゃべりカフェ」を企画・運営しているOさんにその理由を聞いてみました。すると、「運営ボランティアのみんなが楽しくお話をきいてくれるからあ〜」ですって。確かにボランティアの方と話をしている皆さん、にここにこそしてますね。ちなみに、この日のメインスイーツの抹茶プリンもボランティアの方お手製とのこと。美味でした〜はい！

せっかくなので、甘党も「おしゃべり」に参加してみましたよ。みなさん思い思いに「おしゃべり」を楽しんでいますね。

「なんでも自由にお話ができるから楽しいんです」「いろいろな情報ももらえるのよ。情報の出しっこね」なんてお話も聞けちゃいました。

初参加でもあつという間に仲間になれちゃう、そんなステキなおしゃべりカフェ。みなさんも一度遊びに行ってみてはいかがでしょう。きつと元気をもらえるはず。

「おしゃべりカフェ」の情報や抹茶プリンの詳しいことは「のたろんジャーナル」で公開中。詳しくはWEBで、以上、甘党レポート「共楽荘に行ってみた」でした。

(小串滋彦)



サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

サポートセンターのホームページ「のたろんWeb」は

「のたろん」で検索♪

のたろん

検索

\*\*\*\*\* サポセンtopics トピックス

◆ あたらしくなったサポセンの看板 ◆

25周年を迎えて、建物もだんだんくたびれてきました。そんなわけでドブ板通り側と、駅側の出入口の看板を修繕しました。工事中は足場を組んで玄関口が10日間ほど封鎖されました。少しご不便をかけたので、「なんの作業??」と聞かれたけど、「看板直しているんです。」と言うと「だよーボロボロだったものね〜! はははは〜」利用者みなさん以前から気になっていたようです。以前よりシックな色にリニューアルしました!



情報誌「のたろん」春号(通巻102号) 2025年4月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター  
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
横須賀市本町3-27(京浜急行汐入駅徒歩1分)  
TEL 046-828-3130  
FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

